

多重課題シミュレーション 進め方ガイド

研修日	
時 間	
場 所	
対 象	

研修の進め方

事前準備 (20分)

- ・ ホワイトボード①書き方見本・使い方見本 (p.3、p.4) を参考に準備する
- ・ ホワイトボード②振り返り見本 (p.5、p.6) を参考に準備する
- ・ ホワイトボード①②を用いてオリエンテーションを行う
- ・ 事前に準備していた患者事例を、グループみんなで共有する
- ・ 役割はp.7、p.8を参考に、病室の準備を行い演習環境を整える

ナースステーション (10分)

- ・ 看護師役は、ホワイトボード①右側にある「看護記録」を確認し、「患者の起りそうな最初の変化を予測」「Bプランの必要性が高い順に、目的のある必要な看護(観察)を提案」の準備し、看護師リーダー（ファシリテーター）に伝える
- ・ ファシリテーターは看護師役に分からないように、患者役にシナリオ（プラン緑、プラン黄、プラン赤）を状況に合わせて依頼する（※実際に病室で起こりそうな状況）
- ・ 観察者は看護師役が看護師リーダーに伝えている状況を後ろから観察し、その内容を記録する

病室 (15分)

- ・ 看護師役は予測と提案に基づいて看護(観察)を実践する
- ・ 観察者は看護師役がナースステーションで予測や提案したことができているかどうか観察する
- ・ ファシリテーターは看護実践を見守り、状況に応じて準備する（例：家族役、検査時間の提示、酸素・モニター外れ等）

ナースステーション (5分)

- ・ 看護師役は看護師リーダー（ファシリテーター）にI-SBAR-Cを用いて報告する
- ・ 観察者は看護師役の報告を後ろから観察し、その内容を記録する

振り返り (10分)

- ・ p.5、p.6参考に全員が発言できるように振り返りを行う
- ・ ファシリテーターは初回は進行し、徐々に学習者が主体に発言できるよう誘導する。最後にコメントする

ホワイトボード①書き方見本

目標

ナースステーション

- ☐ 患者の起りそうな最初の変化を予測できる
- ☐ Bプランの必要性が高い順に、目的のある必要な看護(観察)を提案できる

病室

- ☐ 状況に応じて優先順位を判断し、目的のある看護(観察)が実践できる

ナースステーション

- ☐ I-SBAR-Cを用いて目的のある報告ができる

振り返り

- ☐ 実践できたこと、改善案を提案できる

ナースステーション10分/病室15分/ナースステーション5分/振り返り10分

訪室 時間	時間(40 分)						
	: ~						
	: ~						
	: ~						

多重課題の優先順位を判断するための基本的な考え方

- 1) 「重症度」と「緊急性」
- 2) 時間管理(患者さんのタイムスケジュール)
- 3) その他(安全管理、応援要請・報告、他の患者さんへの配慮)

多重課題の対応に必要な技能

患者の急変リスクや今後起こりうる状況を予測する

〇〇号室 患者① 看護記録

9:00

<例>

T36℃、P70回/分、Bp120/60mmHg、R18回/分 SpO294~96%(カニューレ2L)、喀痰は透明・少量、安静時は息苦しさなく経過。朝食10/10

12:00

バイタルサイン
症状等

〇〇号室 患者② 看護記録

9:00

バイタルサイン
症状等

12:00

バイタルサイン
症状等

〇〇号室 患者② 看護記録

9:00

バイタルサイン
症状等

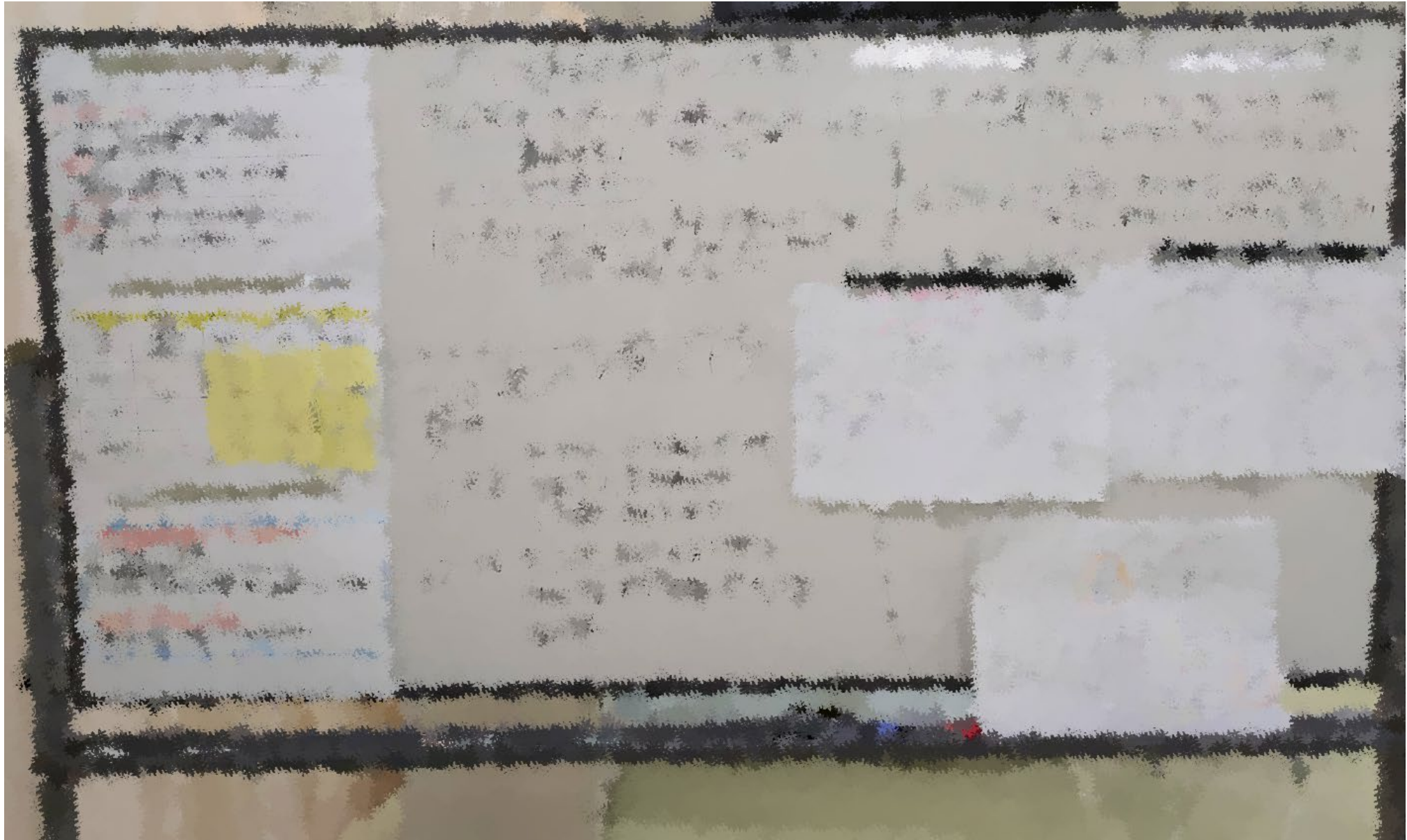
〇〇号室 患者② 看護記録

9:00

バイタルサイン
症状等

- ・ オリエンテーションはホワイトボードを使用して目標、進め方他を伝える
- ・ 患者情報を全員で共有し、準備ができたなら開始する
- ・ 1人の時間は40分程度とする
- ・ 患者情報は時間の経過に沿って、記録を追加していく

ホワイトボード使い方見本



ホワイトボード②振り返り見本

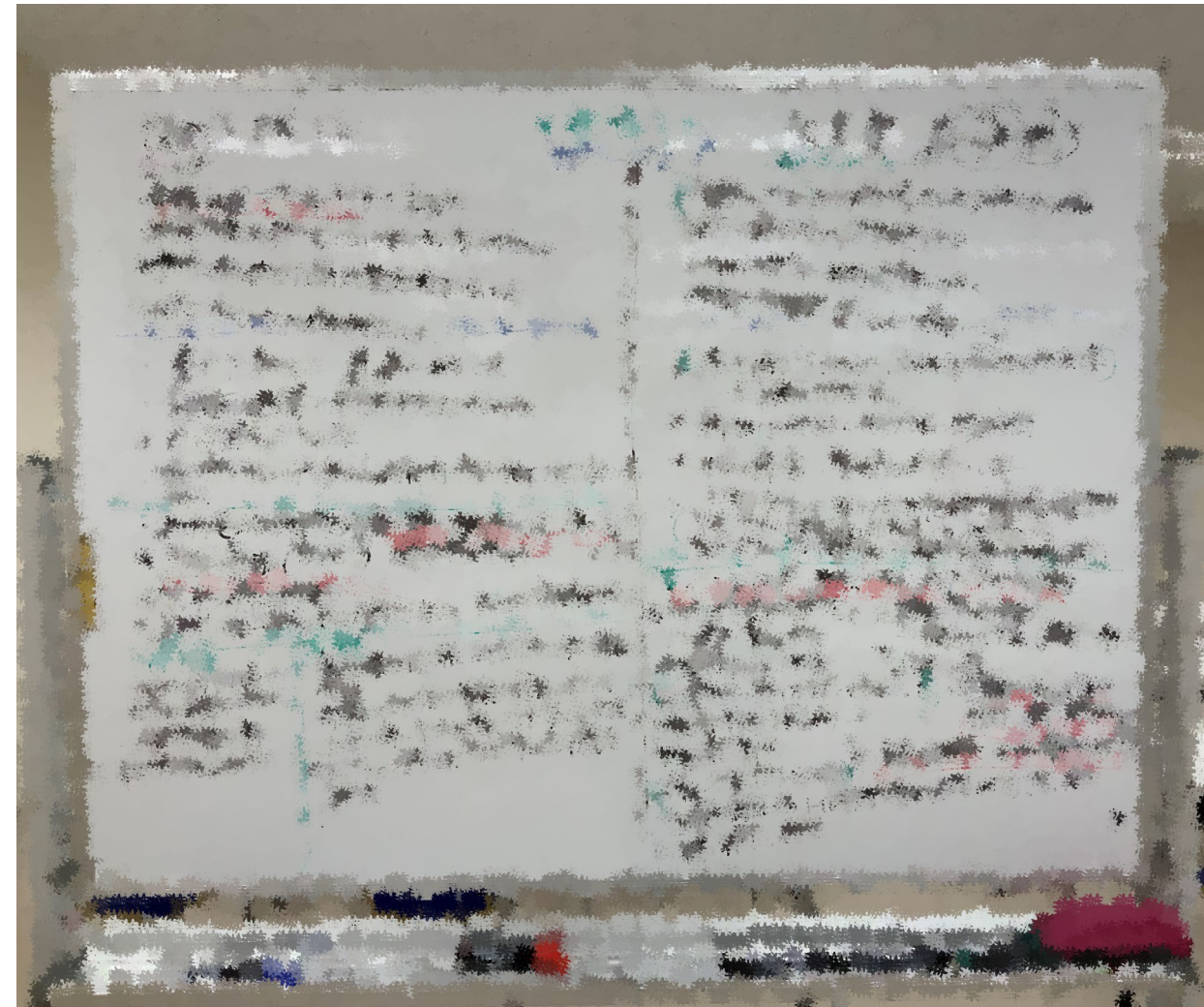
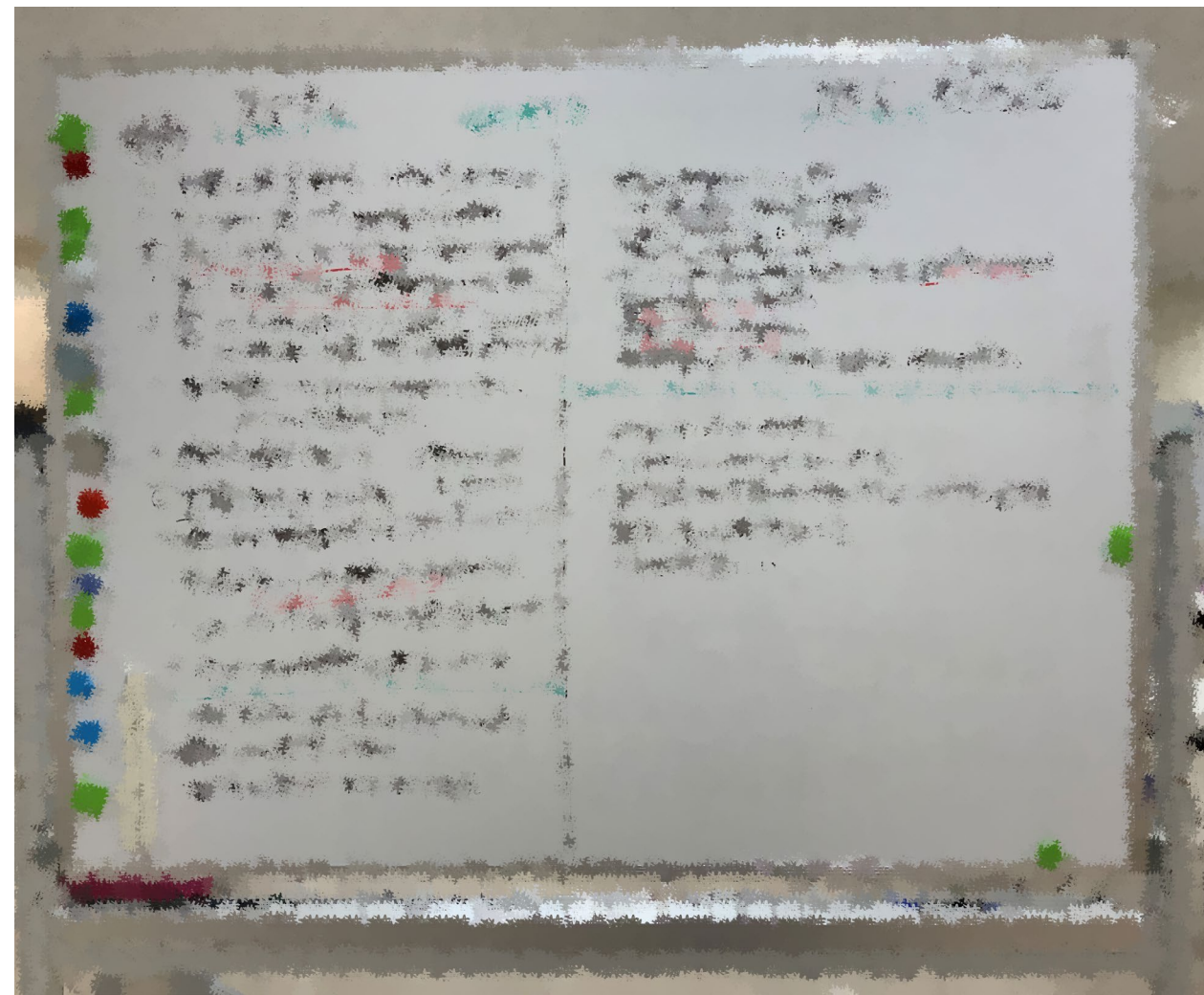
p.5

実施できたこと

改善案

- 振り返りは誰から発言しても良い
- 観察者がホワイトボードに記入する
- 事例毎に上から記入し、消さない
- 次の看護師役はできたこと・改善案の中から
目標を1～3つ決めて下線を引く

ホワイトボード②振り返り書き方見本



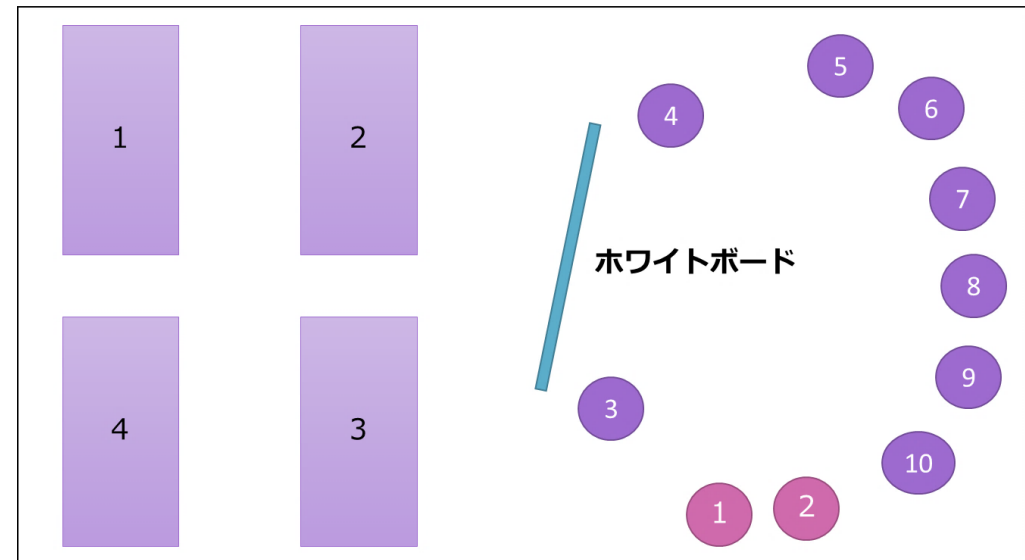
役割（8人の場合）

- 患者役（4名）
- 看護師（2名）
- 観察者（2名）



病室

情報共有と議論の場
(ナースステーション)



グループ分け

1G	①	②
	③	④
2G	①	②
	③	④

目標

ナースステーション

- 患者の起りそうな最初の変化を予測できる
 - Bプランの必要性が高い順に、目的のある必要な看護(観察)を提案できる
-

病室

- 状況に応じて優先順位を判断し、目的のある看護(観察)が実践できる
-

ナースステーション

- I-SBAR-Cを用いて目的のある報告ができる
-

振り返り

- 実践できたこと、改善案を提案できる

タイムスケジュール

ナースステーション10分/病室15分/ナースステーション5分/振り返り10分

訪室時間	実際時間 (40分)	患者	患者	患者	患者	看護師
9:00	: ~ :					
11:00	: ~ :					
15:00	: ~ :					

多重課題の優先順位を判断するための基本的な考え方

- 1) 「重症度」と「緊急性」
- 2) 時間管理（患者さんのタイムスケジュール）
- 3) その他(安全管理、応援要請・報告、他の患者さんへの配慮)

多重課題の対応に必要な技能

患者の急変リスクや今後起こりうる状況を予測する

アンケート2回あり

①研修前

②研修後

